

BACH 映画名作鑑賞会 上映日時 3月 29日(火)、30日(水) 午後1時

映画 ひまわり (1970年 イタリア 107分)

監督 ビットリオ・デ・シーカ

原作者 トニーノ・グエッラ/ゲオルギ・ムディバニ/チェザーレ・ザバッティエーニ

音楽 ヘンリー・マンシーニ

出演者 ソフィア・ローレン、マルチェロ・マストロヤンニ

ひまわりは、ウクライナの国花。ひまわりの花の黄色も、ウクライナの国旗の2色のうちの1色です。

軍事侵攻が始まったころ、こんなニュースが流れていた。ロシア兵と対峙したウクライナの女性が「あなたが命を落とした時に、その場所から花が咲いてほしい。だから、ひまわりの種をポケットに入れなさい」と言い放ったという…。それほどまでに、ひまわりはウクライナの象徴なのです。

ロシアによる、ウクライナへの軍事侵攻が続いている。そのあまりに無惨な光景に心を痛めている人が多いなか、今この映画が注目を集めています。



ストーリー

戦争によって引き裂かれた男女の愛を描いたドラマ。結婚して幸せな日々を送っていたジョバンナとアントニオだったが、第2次世界大戦が勃発し、アントニオはソ連の最前線に送られてしまう。

終戦後、帰らない夫を探しにソ連を訪れたジョバンナは、命を救ってくれたロシア人女性との間に家庭を築いていたアントニオと再会する。逃げるようにイタリアに戻ったジョバンナだったが、数年後、もう一度やり直したいとアントニオが訪ねてくるが。。

ひまわりの花畑と、ソフィア・ローレンが演じるジョバンナのたたずむ姿が、ヘンリー・マンシーニによる哀切なメロディによって感動を倍増させます。